
[有楽町アートアーバニズム YAU] YAU STUDIOの活動, 最新イベント情報

2024年9月2日

~~~~~目次~~~~~

【YAU STUDIO EVENT】 ● 「START Box Exhibition vol.2」開催、 ● 「X\_CHANGE - YAU International Urban Exchange Program」 vol.2 Maxime Guyon (マキシム・ギュイヨン)、 ● 『Swiss Vitality Days スイス・日本国交樹立160周年記念写真展 SUPER NATURAL!』、 ● 有楽町藝大キャンパス「クリエイティヴ・アーカイヴ概説」受講生募集中、 ● 多世代で養う共育の場「ゆ〜す相談室」

【今月のスタジオ・ピックアップ】 小林丈史 (Tokyo Tender Table)

~~~~~

AAAAAAAaAAAAA

YAU STUDIO EVENT ここから広がる思考との出会い

AAAAAAAaAAAAA

若手アーティストによる作品展「START Box EXHIBITION vol.2」開催

若手アーティストの継続的な活動支援を目的としたプログラム「START Box」は、東京都および公益財団法人東京都歴史文化財団との連携によりYAU CENTERで2回目の作品展示となります。今回も絵画や彫刻作品を中心に新たな視点による多様な表現が揃いました。初日には、YAU CENTERの窓に本展の参加アーティストYUSEIがライブペインティングを行います。7日のトークと合わせて、ぜひお越しください。

期間：2024年9月3日(火)～8日(日)

時間：12:00-18:00 初日は20:00まで

場所：YAU CENTER

参加アーティスト：阿久根瑠聖、三本木歆、田中唯子、中村亮一、林田真季、ヒラヤマミオ、広光、藤瀬朱里、YUSEI

<特別イベント>

3日(火) 18:00-20:00 YUSEIによるライブペインティング

7日(土) アーティスト・トーク (ゲスト：インディペンデントキュレーター長谷川新) *直接ご来場ください

14:00-15:00 阿久根瑠聖、田中唯子、広光、藤瀬朱里

16:00-17:00 林田真季、ヒラヤマミオ、中村亮一



『X_CHANGE - YAU International Urban Exchange Program』 Vol.2 Maxime Guyon (マキシム・ギュイヨン)

本プログラムは、YAU STUDIOを舞台に海外からアーティストなどを招聘し、「都市のサーベイと表現」をテーマとしたリサーチ・制作・発表を行う短期レジデンスプログラムです。世界各都市から様々な背景や専門性を持つアーティストやリサーチャーが、エクスチェンジ（交換）を通じて視点や思想を共有し、現代における都市のあり方、アートの役割について示唆に富んだ国際的なクリエイティブ・コラボレーションを創発します。今年3月、アムステルダムから招いたローミーナ・クープマンに続く第二回目は、YAU CENTERで9月11日より開催される『Swiss Vitality Days スイス・日本国交樹立160周年記念写真展 SUPER NATURAL!』にも参加するスイス人アーティスト、マキシム・ギュイオンを招聘します。テクノロジーの進化と写真の発展、日本社会の都市構造を支える技術とデザインに大きな関心を寄せるギュイオンが、東京でどのようなリサーチを行うのか、ぜひご覧ください。

滞在期間：9月6日(金)～18日(水) 12:00-18:00 *土日祝は非公開、制作時は不在の場合もあり

成果発表：18日(水) *後日、YAUとTOKYO PHOTOGRAPHIC RESEARCHのSNSで詳細をご案内します

主催：有楽町アートアーバニズム

企画：TOKYO PHOTOGRAPHIC RESEARCH、SW_

特別協力：コクヨ株式会社 THE CAMPUS FLATS

協力：在日スイス大使館、エリゼ写真美術館

>>>アーティスト略歴はこちら

写真：マキシム・ギュイヨン / デザイン：おおつきしゅうと

『Swiss Vitality Days スイス・日本国交樹立160周年記念写真展 SUPER NATURAL!』

スイスと日本との国交樹立160周年を祝う「Swiss Vitality Days (スイス・バイタリティ・デイズ)」の一環として、在日スイス大使館、スイス・ローザンヌにあるエリゼ写真美術館と、東京を拠点とする現代写真のコレクティブ TOKYO PHOTOGRAPHIC RESEARCHの共同開催により、スイスと日本の6名の写真家による展覧会を開催いたします。

清潔、正確、先進的、絵画のような田園風景と高度に進歩した技術工学や医療の共存、観光都市としての魅力など、人々が思い描く国のイメージにおいて多くの共通点をもつ日本とスイス。完璧のように感じられるその断片をとりまく社会の姿を、本展では写真家の視点を通じて、イメージが育む文化的源泉、根底にある神話、物語のダイナミズムを探究し、現代社会が持つ矛盾や課題についても問いかけます。

会期：9月11日(水)～10月9日(水) 平日12:00-18:00 / 土曜 13:00-20:00 / 日祝休、入場無料

場所：YAU CENTER

参加アーティスト：安藤瑠美、エスター・ヴォンブロン(スイス)、マキシム・ギュイヨン(スイス、フランス)、児嶋啓多、小山泰介、デルフィーン・バーティン(スイス)

キュレーター：ナタリー・エルシュドルファー、リサ・ペナロヨ(エリゼ写真美術館)

主催：エリゼ写真美術館、TOKYO PHOTOGRAPHIC RESEARCH、在日スイス大使館

助成：スイス・プロ・ヘルヴェティア文化財団

特別協力：有楽町アートアーバニズム

[>>>展覧会詳細はこちら](#)

<関連イベント>

●オープニングトーク&レセプション

日時：9月13日(金) 18:00-20:00

場所：YAU CENTER

ホスト：深井佐和子(編集者、本展コーディネーター、SW_)

●9月18日(水)予定『X_CHANGE』Vol. 2 マキシム・ギュイヨン ラウンドテーブル

●日程未定『SUPER NATURAL!』展 トークイベント vol.2 開催

[>>>参加申し込みはこちら](#)



有楽町藝大キャンパス「クリエイティヴ・アーカイヴ概説」後期受講生募集中

東京藝術大学の学生と社会人が一緒になって、さまざまなテーマで学ぶ有楽町藝大キャンパス。ゲスト講師を招き、アート作品が内包する社会的・歴史的な側面にも着目し、高度情報化社会のなかでアーカイヴを再考する「クリエイティヴ・アーカイヴ概説」(講師：毛利嘉孝/東京藝術大学大学院 国際芸術創造研究科教授、平愉一郎/東京藝術大学未来創造継承センター 准教授)では、後期受講生を募集しています。学びの場となるYAU STUDIOで、学生と社会人が関心と経験を持ち寄り有意義な時間を過ごすことで、現在と未来に向けた新しい視点が、ここから生まれていきます。

期間：2024年10月～2025年1月

ゲスト講師：松山ひとみ(視聴覚メディアアーキヴィスト)、川口成彦(演奏家)、浅井ふたば(東京藝術大学美術学部近現代美術史・大学史研究センター)、仲辻真帆(同大学未来創造継承センター大学史史料室)、田口智子(同大学未来創造継承センター)、施井泰平(現代美術家・スタートバーン株式会社代表取締役)、青柳菜摘(アーティスト)、渡邊朋也(アーキヴィスト、アーティスト)、岡嶋克典(横浜国立大学大学院教授)

>>> 「クリエイティブ・アーカイヴ概説」 詳細およびお申し込み (9/27 23:59締め切り)



東京藝術大学・東京都・YAUが連携し、
藝大講座を一般向けに開講！
「クリエイティブ・アーカイヴ概説」
と「アート・リサーチ演習」の2講座を
有楽町で受けられます。

講師
毛利嘉孝（東京藝術大学大学院教授）、平
舘一郎（東京藝術大学未来創造継承センタ
ー准教授）、青柳実地（アーティスト）、
笠井寿平（スタートアップ株式会社代表取
締役）、島影圭佑（デザインリサーチャ
ー）、その他

アートとユースの視点を盛り込んだ多世代で培う共育の場 Youthpace企画「ゆ〜す相談室」 ユース世代が大人の相談に乗り、対話を通じて心のリセットを図る場を提供する「ゆ〜す相談室」。Youthpaceはアート(Art)とカルチャー(Culture)の関わりを再定義しながら、新たな価値の創造と社会実装を図る「tra-」が運営しています。企画からユースと意見交換を重ねて相談室は誕生しました。心の音で話し合うことで新しい発見をする相談室に、ぜひお越しください。The Youth Slowdown Space is a one-of-a-kind consultation room operated by youth (teenagers) for adults that aims to reinvigorate and provide fresh perspectives. Please come to our consultation room where you can discover new things by talking with your heart. Please visit a link below for more information and book your spot.

日時：9月4日、18日、10月2日、16日 12:00-16:00 (最終受付15:30)

相談時間：45分枠、60分枠、75分枠より選択

場所：YAU STUDIO

お一人様1回限り1名様のみ、英語でも対応しています | English available

>>> [予約申し込み](#)

ゆ〜す相談室
Youth Slowdown Space



tra-

ゆ〜す世代があなたの相談に乗る、
一期一会の機会

「ゆ〜す相談室」開設中！

UUUUUUUUUUUUUUUUUUUUUU

今月のスタジオ・ピックアップ YAU STUDIOを活動の場とするアーティストやメンバーからひとこと

UUUUUUUUUUUUUUUUUUUUUU

私は、YAUが定期的で開催しているトークイベント「YAU SALON」の初回から記録撮影をしています。大学院まで建築や都市計画を学び、寺田倉庫に勤め、そこでベンチャー制度を利用してTokyo Tender Tableという会社を立ち上げました。現在は仕事仲間の朝山と、会社員時代に培ったノウハウを活かしてデザインの仕事をしています。一方、2012年からベルリン在住のアーティスト村上亘のサポートをはじめ、美術を学びながら展覧会のキュレーションもしています。複数の国で生活をしたアーティストと視点を共有することで、現代社会の課題点がクリアに見えてくることがあります。

YAUは、都市開発の隙間をスイスイと泳ぎ、そこにあるモノで棲家を作ってしまうような柔軟な活動だと思って

います。台本のない緩やかな対話であるYAU SALONを「レンズ越し」に見てきましたが、アートやカルチャーの原動力に魅了された登壇者の顔が、社会に伝えようとする真剣な眼差しに転換する瞬間の表情を捉えたいと思いながら撮影しています。印象に残ったこれまでのYAU SALONに、アーティストの檜皮一彦さんが有楽町ビルを活用したワークショップがあります。そこで檜皮さんの考えと実践を体を動かして学ぶことができました。また、井上尚子さんの「くんくんウォーク」では、国際ビル周辺の匂いから建物や都市の特性を嗅覚で認知しました。YAU SALONに登壇するゲストは、社会の「当然」をひっくり返すような力をもつ稀有な存在で、自分に新しい思考の引き出しを与えてくれます。小林文史 (Tokyo Tender Table)



Tokyo Tender Table

本文中、すべて敬称略

配信日：2024年9月2日

執筆・編集：有楽町アートアーバニズムYAU編集室

YAU STUDIO：東京都千代田区丸の内3-1-1 国際ビル 7F

[web](#) / [note](#) / [instagram](#)

note最新記事：

[生活と制作の間でアーティストが考えていること。山中suplexと6okkenの実践——YAU SALON vol.26 「いま、アーティスティック・コミュニティでは何が起きているのか」レポート](#)

YAU